

こんにちは ブラインテックです

第55回 横浜美術館美術情報センター 2010年4月

日々発展が続く横浜みなとみらい地区。1989年3月に横浜博覧会の会場としてオープン以来、20年以上にわたりさまざまな年代の来場者に親しまれている横浜美術館を訪問しました。2010年3月20日から6月13日までは「ポンペイ展ー世界遺産 古代ローマ文明の奇跡」を開催中です。横浜美術館の基本方針である「みる・つくる・まなぶ」の連携のうち、「まなぶ」機能を担っている美術情報センターを、スタッフの方々にご案内いただきました。

——本日はありがとうございます。横浜美術館は石造りの空間のひろがり素晴らしく、一日いても飽きないと感じます。

横浜美術館は1989年に開館しました。横浜の「Y」の字の形に3つの四角を組合せたロゴマークは、それぞれ「みる」「つくる」「まなぶ」を表現しています。「みる」は美術館のコレクション展や企画展、「つくる」は、子どものアトリエや市民のアトリエでのワークショップ開催、そして美術情報センターは「まなぶ」部分で、美術に関する幅広い情報を、図書・映像・情報（データベース）などさまざまなメディアで提供しています。美術情報センターのみの利用は無料です。美術館展示会場とつながっており、2005年からは入館チケットの提示で行き来ができるようになりました。利用者はお子さまからご年配の方まで幅広く、情報収集や総合学習等に活用いただいています。

美術情報センターは、司書3名とアルバイト4名で運営しており、さらにボランティアの方々に展示会チラシファイリング、資料の簡易な補修、装備などをお手伝いいただいています。

——美術情報センター探検ツアーなどの企画があり、美術館が身近に感じられそうですね。閲覧室には美術館の企画展と連動したテーマの資料を並べたコーナーがあり、展示への理解も深まるように思います。

美術情報センター探検ツアーは年数回開催しています。美術情報センターの概要の説明、閲覧室やマイクロフィルムのご案内のほか、書庫見学など普段見られない場所もスタッフがご案内しご説明するので、毎回ご好評いただいています。募集時期等は当館ホームページでご案内しております。

閲覧室には、美術館の企画展やコレクション展の関連資料コーナー、時節に合ったテーマをもとに所蔵資料を紹介する特設資料コーナーを設けています。また、全国の展示会のチラシや地元アート情報、公募・講座案内などのアートイベントに関する広報物も、館内に掲出しています。

当センターでは、美術に関する情報を様々なメディアで紹介しています。豊富な図書をはじめ、映像資料、データベースなどを公開し、美術に関する情報収集や学習を総合的にサポートしています。図書は約9万6千冊で、美術雑誌は約2千6百タイトルを所蔵しています。

所蔵資料には、国内外の美術に関する図書、展示会カタログ、美術雑誌、年報、紀要、蔵品目録、ニュースなどの美術館刊行物などがございます。このほかに、国内外で開催された展示会カタログやチラシ、DMなどのコレクション、そして明治から平成にかけての美術教科書・美術



教育関係のコレクション「中村文庫」が、特筆すべきコレクションとして挙げられます。

図書の分類はNDCですが、展覧会カタログ類は都道府県コードと美術館コード、開催年を組み合わせ独自に分類しています。当センターでは、展覧会カタログを貴重なコレクションと位置付けて収集・保管しています。

最近、展覧会カタログの形態が多様化してきています。例えばフィギュアや鏡、アンモナイトなどの小物がついてくるもの、木など紙以外の珍しい素材が使われているものなどがあります。そこで、保管のため小物は保存用のグラシン紙に包み、付属品の一覧表をつけるなど保管するための工夫が必要になってきました。利用者からの要望に応じて館内閲覧を受け付けていますので、返却時には一つ一つ内容を確認しています。



——資料の所蔵状況だけでなく、美術館所蔵の作品画像なども館内のパソコンで見られますが、コンテンツが豊富で驚きました。

当館ホームページからは、「蔵書検索」や「美術図書館横断検索」「ビデオライブラリー」「所蔵作品目録」「中村文庫」などのデジタル画像等を検索していただけます。「美術図書館横断検索」は、ALC: Art Libraries' Consortium (美術図書館連絡会) という、相互協力を旨とする美術図書館コンソーシアムの加盟館の所蔵図書資料を横断的に検索できるものです。

館内では蔵書検索だけでなく、横浜美術館所蔵品やデジタル画像、作家解説のビデオ等を自由に閲覧していただくことができます。



——「情報館」総合管理、OPACⅡと蔵書データお預かり OPAC 公開サービス「Jopac」をご活用いただいておりますが、ご利用のご感想はいかがでしょう。

「情報館」はサポートも行き届いているので、安心して使用しています。画面レイアウトが自由に設計できることが良いですね。また、「情報館」総合管理や OPACⅡは画面デザインも良く出来ていると思います。押し間違いが少ない大きめのアイコン、ボタンにさりげなく影がついているといったデザインはとても見やすく、さまざまな年齢層が利用する当センターには、とてもユーザーフレンドリーだと感じます。

——本日はありがとうございました。これからは、みなとみらい散策の折にはぜひ横浜美術館と美術情報センターで芸術への理解を深めたいと思います。ますますのご発展をお祈り申し上げます。

横浜美術館美術情報センター

Yokohama Museum of Art, Art Information and Media Center

ホームページ：http://www.yaf.or.jp/yama/ (横浜美術館)
 http://www.yaf.or.jp/yama/artinfomation/ (美術情報センター)
 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1
 TEL. 045-221-0300 (代)

- * 横浜美術館の開館日等の詳細はホームページをご覧ください。
- * 資料の貸出、美術情報センター外への持ち出しはできません。
- * 館内の写真撮影はできません。今回は特別許可を得て撮影しています。
- * データは2010年2月現在。



YOKOHAMA MUSEUM OF ART
横浜美術館